
プロジェクト 収益認識に関する会計基準の開発

項目 第 373 回企業会計基準委員会で聞かれた意見

本資料の目的

1. 本資料は、第 373 回企業会計基準委員会（2017 年 11 月 22 日開催）において審議した項目について、聞かれた主な意見をまとめたものである。

公開草案に寄せられた主なコメントの概要

2. 個別の業種における現行実務の取扱いについて、継続適用が可能かどうかを確認するコメントが多く寄せられているが、その中でも相応に広範な業種に影響が及ぶ取扱いについて詳細な検討を行う必要があると考えられるのではないかと。
3. 公開草案に含まれていた設例の修正又は削除に比して、設例の追加は相当の負荷がかかる可能性があると考えられるため、収益認識会計基準公表後に検討する強制適用時の注記事項の定めと合わせて、設例を追加することも考えられるのではないかと。
4. 監査人が公開草案に基づいた会計処理の変更を企業に求めることは不適切であるとのコメントについて、関係団体を通じて周知することとしたい。

以 上